



独立行政法人国際交流基金

国際交流基金は、日本と海外との文化交流事業の必要性が内外で高まる中、昭和47年（1972年）に設立されました。基金は自ら国際交流事業を行うとともに、他団体に対して資金援助を行うことで、民間の国際交流を支援しています。事業対象国・地域の総数は約190ヵ国・地域にのびります。その事業範囲は幅広く、文化交流・協力、造形美術交流、舞台芸術交流、映像出版交流、日本語教育、日本研究、知的交流、市民・青少年交流、国際交流に関する調査研究、情報提供など多岐にわたっています。日本文化に関するあらゆる事業を実施していると言ってもよいと思います。

基金がどのように国際交流のお手伝いをしているかを説明しましょう。例えば、海外で活け花や茶道等の専門家の方に日本文化の講義や実演をしていただく場合に、旅費の一部を援助することができます。また、ありのままの日本を肌で感じていただくため、海外の研究者や文化人・芸術家等を日本にお招きしています。お招きした方々は講演会や舞台公演等を通じて自国文化等をご紹介いただくとともに、短期間ながら日本で生活を経験することになります。その他にも、舞台芸術の公演・美術品の展示等の芸術交流、海外の日本語教育や日本研究支援等を行っています。

これら多くの事業の中で、比較的歴史の新しい分野が2つあります。1つは市民交流や草の根交流に対する支援事業です。日本が国と国、地域と地域のより緊密な関係を結ぶためには、まず市民同士がお互いを理解する努力を継続しなくてはなりません。基金では、アジアセンターの「アジア市民交流助成」や日米センターの「地域・草の根交流助成」プログラム、人物交流部派遣課が実施している「日欧市民交流助成（派遣）」プログラム等により、人々の国境を越える相互理解が進み、より密接なコミュニケーションが行われるよう、お手伝いをしたいと考えています。

市民交流支援事業の例をご紹介しますと、例えば、日韓の学生が環境問題を論じた「日韓環境ギャザリング」は、今後も議論が継続して行われることが十分に期待できる事業ですし、日米で障害者問題の各領域で活動している方々が、障害のあるなしにかかわらずグループを組んで相手国を訪問した「モビリティ・インターナショナル」の事業は、共通の経験を積み重ね、市民レベルで意見交換することで新しい社会のあり方を考えた有意義な事業です。

海外の文化を日本に紹介する事業も、異文化理解の「楽しさ」、「面白さ」を知り、国際交流の大切さを再確認していただくために重要と考えています。「地中海映画祭」等海外の映画紹介や、アジア・中東の文化を紹介する理解講座、東南アジアからミュージシャンを招いたJ-ASEAN Pops、アジアから作家をお招きして各地で実施する開高健記念講演会等、様々な事業を実施しています。今年度からは中東地域の文化紹介にも力を入れることとなりました。

なお、地方自治体や民間団体との連携により国際文化交流活動を推進していくための窓口として、国際交流相談室があります。各種シンポジウムや国際交流事業についての連絡会の実施、ニュースレターの発行等による情報提供を行うと共に、事業の企画に関するご相談をお受けしていますので、是非ご利用ください。

お問い合わせ先：

独立行政法人国際交流基金 The Japan Foundation

〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32アーク森ビル21階

TEL：03-5562-3537

<http://www.jpf.go.jp/>



心で運ぶ
ルートライナー
日通の海外引越

安心・確実・きめ細かな対応
心で運ぶ日通の海外引越
「ハートライナー」

◎お電話1本でご自宅までお荷物を
取りに伺います！



ヨイ マルツ マルツ
0120-41-0202

お見積無料、まずはお電話ください。

引越専用フリーダイヤル
お見積り無料、まずはお電話ください。

0120-154022
ひ こ し ォー にゅう

〒860-8502 熊本市春日2丁目8番5号

日通旅行 日本通運(株)
熊本旅行センター

国土交通大臣登録一般旅行業第19号
日本旅行業協会会員
一般旅行業務取扱主任者 塩崎哲章